

## 2018年度 一般社団法人日本臨床化学会 第2回理事会（拡大理事会）議事録

日 時：2018年8月24日（金）17：45～19：20

場 所：名古屋国際会議場 432会議室（4号館3階）

議 長：前川真人（代表理事）

出席者：前川真人（代表理事）、大久保滋夫、矢富 裕、山内一由、山田俊幸（以上常務理事）

植田 成、多田正人、康 東天、黒田直敬、惠 淑萍、坂本秀生、菅野光俊、  
濱田悦子、細萱茂実、松本祐之、眞野成康、山口哲史、吉田 博（以上理事）、岩谷良則、  
戸塚 実（以上監事）、石井潤一（第58回年次学術集会長）

池田勝義、橋口照人（以上常置委員長）、河野麻理（企業会員世話人）、大澤春彦、萱場広之、  
末岡榮三朗、中谷 中、三田村邦子、横崎典哉（以上支部長）

欠席者：齋藤邦明（理事）、加藤公則（支部長）

理事出席者数 18名（全理事数 19名）、全出席者数 30名

本会名誉会員の臼井敏明先生の逝去（2018年6月25日）を悼み、黙祷が捧げられた。

### 議 題

#### 1. 開会の辞（前川 代表理事）

- ・理事 19名全員の出席があり理事会は成立した。代表理事より開会の挨拶があった。

#### 2. 第58回年次学術集会長挨拶（石井 年次学術集会長）

- ・第58回年次学術集會会長の石井先生よりご挨拶ならびに開催概要について報告をいただいた。

#### 3. 議事録確認者の指名（前川 代表理事）

- ・植田 成 理事、大久保滋夫 理事が指名された。

#### 4. 報告事項

##### 1) 庶務報告（矢富 庶務担当理事）

###### ①学会会員現状報告

- ・2018年7月31日時点の正会員は1,127名、正会員（評議員）は158名、正会員（30歳未満）は120名で会員は増加している旨報告がなされた。

###### ②事業報告・事業計画

- ・2018年6月の理事会以降に開催された会議、学会誌発行などの報告ならびに本理事会以降に開催予定の年次学術集会、会議、学会誌発行等について報告がなされた。

##### 2) 2018年度会計中間報告（山内 会計担当理事）

- ・2018年4月1日から7月31日まで、4ヵ月分の会計について途中経過が報告された。

##### 3) 第59回年次学術集会報告（眞野 次期年次学術集会長）

- ・第59回年次学術集會会長の眞野先生より開催概要について報告がなされた。

会 期：2019年9月27日（金）～29日（日）

会 場：仙台国際センター

集会長：眞野成康（東北大学病院 教授・薬剤部長）

副集会長：藤巻慎一（東北大学病院 検査部 臨床検査技師長）

テーマ：未来型医療を創造する臨床化学

##### 4) その他（前川 代表理事）

###### ①評議員更新条件について

- ・評議員更新の条件は任期中に2回評議員会に出席することになっている。今後、この条件についても検討する予定。

###### ②評議員推薦について

- ・2018年度は評議員の任期満了・更新年度である。定数より評議員数が減少した場合、支部ごとに推薦の依頼をするので、その際には推薦をお願いしたい。

### ③日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) ISO/TC212 国内委員会委員について

- ・JCCLS から ISO/TC212 国内委員会委員として本会より桑克彦先生を推薦してほしいという依頼があった。桑先生は本委員会に委員としてご就任をいただいているため、本会より正式に桑先生を推薦する。

## 5. 審議事項

### 1) 理事・監事選挙について (前川 代表理事)

- ・WEB 選挙により選出された理事・監事について報告がなされ承認された。

＜理事＞ 大学・研究機関の臨床系：三井田孝氏、村上正巳氏

大学・研究機関の基礎系：池田勝義氏、三浦雅一氏

病院系：川崎健治氏、柴田綾子氏

産業学術系：白井秀明氏

＜監事＞ 矢富 裕氏

### 2) 名誉会員・有功会員 (候補者) について (前川 代表理事)

- ・名誉会員候補 3 名、有功会員 9 名の候補者が挙げられ承認された。ただし、年会費未納の方については納入していただくことを条件とする。

名誉会員：岩谷良則氏、千葉仁志氏、細萱茂実氏

有功会員：池田昌伸氏、宇治義則氏、大島久二氏、佐竹 薫氏、津田博子氏、寺澤文子氏、藤田誠一氏、眞船直樹氏、和田英夫氏

### 3) 2019 年度予算案修正 (山内 会計担当理事)

- ・学会賞だけでなく、その他の賞や補助金など費用とするため、収入の部の「学会賞基金」を「学会活性化基金」、支出の部の「学会賞関連費」を「学会活性化関連費」と項目名を変更する旨提案があり承認された。

### 4) 第 61 回、第 62 回年次学術集会長選出について (眞野 集会・広報委員長)

- ・第 61 回 (2021 年度) 年次学術集会長、第 62 回 (2022 年度) 年次学術集会長について、学会への貢献度を重視し、専門性などを考慮したうえで委員会にて審議した結果、第 61 回は康 東天先生、第 62 回は北島 勲先生に依頼したらどうかという提案があり承認された。

### 5) 学会誌電子化について・ニュースレターについて (吉田 編集担当理事)

- ・経費削減などを目的として学会誌の電子化を進めたらどうかという提案があり、会員に向けてアンケート調査を実施した。会員の約 24% から回答があり、そのうちの約 61% が「すべて電子化」を希望するという結果になったが、同時に電子化に関する様々な意見をいただいた。

- ・昨年度からニュースレターの制作について検討が続いており、会員に向けて情報提供をすることが理事会・社員総会で決定している。学会誌の電子化とニュースレターについて編集委員会で検討した結果、電子については概ね賛成であり、学会誌に掲載している原稿の一部をニュースレターに移行し、冊子のボリュームを少なくし、電子媒体への移行期として最新の情報を会員に提供しよう作業を進めたいという提案があり承認された。

- ・ニュースレターは年間 6 回程度、2019 年度以降準備ができ次第メール配信していく。

- ・バナー広告と連動させるなど、広告も掲載する予定。企業会員の方にご案内し協力をお願いする。

### 6) その他 (前川 代表理事)

- ・現行の細則について見直すため、会則改定委員会を設置したい。リーダーを戸塚先生に依頼し、メンバーを選出し検討を開始したい旨提案があり承認された。代表理事より、現行の細則が現在の学会運営の現状とあっているかどうか確認してほしい。なお、選挙区分について不明瞭という意見が多く、異なる区分に登録しているという状況も見られるため、選挙区分を整理して正しく選出できるようにしたいという意見があった。

## 6. 報告事項

### 1) 常置委員会報告

#### ①編集委員会報告（吉田 担当理事）

- ・第47巻第1号～第3号の掲載内容に関する報告。
- ・論文投稿は2編が査読中である。うち1件は倫理委員会の審査が通っていないとのことで、関係者に確認後倫理委員会の審査を通してから再度投稿してもらうよう通知する予定。
- ・ACBは日本からの投稿が10編程度あり採択率は約30%でIF:2.0程度とのこと。査読依頼があった場合はなるべく協力してほしい。
- ・投稿規定の倫理に関する項が古い情報のままであるため、最新の情報を確認し更新する。

#### ②国際交流委員会報告（坂本 担当理事）

- ・2019年にインドにて開催するAPFCBに本会としてシンポジウムを提案中。
- ・昨年に引き続き年次学術集会にて国際学術セミナーを開催した。

#### ③教育委員会報告（松本 担当理事）

- ・濱田担当理事を委員に就任したい旨教育委員会より提案があり承認された。
- ・認定臨床化学者の審査が行われ、新規申請は18名中17名が認定、更新者は申請14名全員が更新された。
- ・認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師・管理者は12月15日に東京工科大学で試験を実施する予定。年次学術集会の3日目に指定講習会を開催する。
- ・認定臨床化学・免疫化学精度管理保証検査技師制度の更新については各支部で更新を行えるよう手続きを進めている。
- ・認定臨床化学検査技師制度（仮称、免疫化学も含む）の立ち上げを検討している。臨床検査技師の認定制度のため日本臨床衛生検査技師会（日臨技）との連携は不可欠であるため、本会との合同委員会を設置したい。詳細については認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師・管理者と同様のレベルで行うよう検討中。理事会承認後に日臨技に正式に依頼し、2020年4月から実施予定で進める旨提案があり、承認された。

#### ④学術連絡委員会報告（康 担当理事）

- ・各専門委員会からプロジェクトの進捗状況報告があった。
- ・プロジェクト報告の提出に関する内規について大幅に内容を見直しする予定で検討中。

#### ⑤集会・広報委員会報告（眞野 集会・広報委員長）

- ・学会ホームページの支部ページ、専門委員会ページの更新が滞っているところがある。支部ページの更新を進めるため、支部長の交代や引継ぎに依存しないように、別途HPの担当者を決めていただき、委員会から直接連絡が取れるような形にしたい。専門委員会も同様に委員会で担当者を決めていただきたい旨提案があり承認された。
- ・HPへのアクセス数が倍増しているので、企業懇話会で企業会員に報告し、バナー広告の掲載依頼に努める。
- ・今回第61回、第62回の年会長を提案した。今後は1年ごとに4年後の年会長を決めていきたい。年会長選出の条件としては地域性も重要だが、学会への貢献度を重視して決めていきたい。

#### ⑥学会賞選考委員会報告（黒田 担当理事）

- ・学会賞は学術賞1名、奨励賞2名、技術賞4社、論文賞2名が受賞した。YIAは各支部から1名選出して9名となった。
- ・受賞者にはメール理事会で承認後に受賞や抄録依頼をメールで通知していたが、今後はメール理事会での承認日付で受賞通知を書面で送りたい旨提案があり承認された。

#### ⑦法務委員会報告（多田 担当理事）

- ・2017年度の利益相反の調査を実施したが、回答率が現時点で82.8%であった。回答率が100%ではないので、連続して回答を提出していない方には代表理事名で催促の通知を出す予定。

- ・学会発表の場合、COI の開示を筆頭だけでなく共同演者の開示も必須としたらどうかという意見があり承認された。

⑧あり方検討委員会報告（植田 あり方検討委員会副委員長）

- ・年会などで他学会との共催シンポジウムを実施しているが、年会長の采配に影響されることもあるので、共催する学会を決めておいたらどうかという提案があった。
- ・60 代の方の退会が多いため、現職をリタイアされた方に会員として継続していただくための方策を検討したらどうかという提案があり、継続審議とする。

2) 支部報告

- ・下記 9 つの支部から支部総会・支部例会などの報告がなされた。各支部とも順調に運営を行っている。

- ①北海道支部（恵 支部長）、②東北支部（萱場 支部長）、③関東支部（山田 支部長）、④甲信越支部（山田 庶務担当理事）、⑤東海・北陸支部（中谷 支部長）、⑥近畿支部（三田村 支部長）、⑦中国支部（横崎 支部長）⑧四国支部（大澤 支部長）、⑨九州支部（末岡 支部長）

3) 企業懇話会（河野 企業懇話会世話人）

- ・8 月 26 日に企業懇話会を開催予定。

4) その他（前川 代表理事）

- ①2018 年度新旧理事会は 2019 年 3 月 30 日（土）に開催予定。
- ②2019 年度社員総会は 2019 年 6 月 23 日（日）に開催予定。

7. 閉会の辞（前川 代表理事）

- ・代表理事より挨拶があり、理事会は閉会した。

以 上

議長

前川 真人



議事録確認者

大久保 滋夫



議事録確認者

植田 成

